

主任者 コーナー

平成27年度放射線安全取扱部会年次大会 (第56回放射線管理研修会)のお知らせ(4)

平成27年度放射線安全取扱部会年次大会実行委員会

平成27年度放射線安全取扱部会年次大会は中部支部が担当します。中部支部ではこれまで名古屋市で年次大会を行ってきましたが、今回初めて北陸の金沢市で開催します。今回のテーマは「放射能・放射線の情報を正しく発信するには」としました。福島第一原子力発電所事故以来、放射能・放射線に対する負のイメージがますます強くなってしまいました。これは、メディアの偏った情報と一部の研究者が科学者の立場を忘れて個人の立場でポリシーを話してしまったためと考えられます。また、一般の人たちに基本的な放射能・放射線の知識がないことも大きな要因だったと思われます。そこで、1) 今一度、放射能・放射線について正しく知ること、2) メディアから発信する情報を正しく理解することやメディアに正しい情報を発信してもらうためにすべきこと、を目的としたシンポジウムを企画しました。年次大会の全体のプログラムもほぼ決まりましたので、お知らせします。今年3月に北陸新幹線が開通し、関東方面からの金沢市へのアクセスが大変便利になり、東京-金沢間が最短2時間28分となりました。会員の皆様方には、是非、年次大会に参加くださるようお願いいたします。

年次大会概要

- 開催日：平成27年11月26日(木)、27日(金)
- 会場：金沢市文化ホール
金沢市高岡町15番1号
(JR金沢駅よりバスで約15分)

○テーマ：放射能・放射線の情報を正しく発信するには

今年度より事前参加登録を開始いたします。受付開始時期等詳細はホームページ (<http://www.jrias.or.jp>) でご確認ください。

	事前登録	当日登録
年次大会参加費	6,000 円	7,000 円
交流会参加費	5,000 円	6,000 円

プログラム概要(予定)

【11月26日(木)】(1日目)

- 9:00～ 参加受付
- 10:00～10:40 開会・部会総会
- 10:40～11:00 平成27年度功労表彰(案) 受賞式(および若手表彰(平成28年度以降)(案) 創設について)
- 11:00～12:00 特別講演Ⅰ「放射線安全管理行政の動向」(仮題)
- 12:00～13:00 休憩
相談コーナー
- 13:00～14:30 ポスター発表
- 14:30～16:20 シンポジウムⅠ(一般公開)
「核医学による最新診断および治療法」
- 16:20～16:30 休憩
- 16:30～17:30 特別講演Ⅱ(一般公開)
「歴史と文化のまちづくり」
山出 保氏(前 金沢市長、石

- 川県中小企業団体中央会会長)
- 18:00~20:00 交流会 (於 金沢ニューグラン
ドホテル)
- 【11月27日(金)】(2日目)
- 9:00~ 参加受付
- 9:30~11:00 シンポジウムⅡ「メディア・リ
テラシーを考える」
- 11:00~11:10 休憩
- 11:10~12:00 特別講演Ⅲ
「小動物 PET/SPECT-CT 装置を
用いた *in vivo* 動物研究の現状
と将来性」
- 12:00~13:00 休憩
- 13:00~14:40 シンポジウムⅢ「放射線施設改
修工事および廃止における注意
点」
- 14:40~15:00 放射線教育の報告
- 15:00~15:20 大会のまとめ、次回大会紹介、
閉会

今回の金沢大会のプログラムは、これまでの大会と同じように3つの特別講演と3つのシンポジウムを企画しました。特別講演Ⅰでは放射線規制室に「放射線安全行政の動向について」(仮題)の講演をお願いしております。RI 関連施設の管轄が原子力規制委員会に移行しました。現在、規制の統一化を図っており、放射線規制室と原子力規制室の間で、人的交流・入れ替えが進んでいるとのこと。その結果、我々が関係する放射線取扱施設に対する規制が不必要に強化される懸念もあります。その辺のことも含めて、話を伺えればと考えております。特別講演Ⅱでは、1990~2010年までの5期20年にわたり金沢市長を務められた山出保先生に「歴史と文化のまちづくり」という演題で話をさせていただきます。山出先生は、市長時代に金沢市の伝統的な文化の再生に力を注が

れ、観光都市金沢の復活に貢献されました。会員の皆様には、金沢市の文化の魅力については是非知っていただきたいと考えております。本講演は一般公開します。特別講演Ⅲでは、これからの放射線取扱施設の発展のための重要なモダリティとなり得る小動物イメージング装置を利用した研究について紹介をさせていただきます。

シンポジウムⅠ「核医学による最新診断および治療法」では、脳、心臓、がんの診断・治療法に関する最新の話題について話をさせていただきます。内容としては、アルツハイマー病の診断法として、最近注目されているアミロイドイメージングとタウイメージングについて、がん治療法としては短寿命の α 線核種(^{223}Ra 等)を利用した最新治療法等について講演いただきます。シンポジウムⅡ「メディア・リテラシーを考える」では、放射能・放射線に関する情報をメディアに提供する側と放射能・放射線に関する情報を社会に伝えるメディアの相互理解を進め、情報を客観的に正しく伝える方法について検討し、いかにメディアを正しく活用できるか考えていきたいと思います。シンポジウムⅢ「放射線施設改修工事および廃止における注意点」では、放射線施設の大規模な改修工事が最近、多くの大学で行われています。また、施設の廃止特に、放射線発生装置施設の廃止の場合、放射化に対する対策が必要となっています。そこで、大規模改修工事や放射線発生装置施設の廃止に伴う書類手続き上の注意点並びに、実際の工事で起こる問題点(予算不足、設計と実際の相違等)について経験を話していただき、これから、改修工事または施設の廃止を行う予定の会員の方々の参考になればと考えています。

ポスター発表募集

日頃、放射線安全管理等の実務を担当されて

主任者 コーナー

いる方の情報交換の場として、今回もポスター発表を募集します。テーマは大きく分けて以下の4つとなっています。1) 放射線取扱施設での施設維持管理・運用・リスク、2) 教育訓練・啓発活動、3) 分科会・委員会・支部報告、4) 震災・地域貢献・環境放射能。しかし、それ以外のテーマで応募されても構いません。できるだけ多く演題を募集しております。多くの方の参加を期待しております。

なお、お申込みは日本アイソトープ協会のホームページ (<http://www.jrias.or.jp>) 「平成 27 年度年放射線安全取扱部会年次大会 (第 56 回放射線管理研修会) のお知らせ」の「ポスター発表募集」からお願いします。お申込みいただいた内容 (表題, 発表 (責任) 者) は「ポスター発表一覧」として 10 月号に掲載する予定です。

- 発表申込期限: 8 月 7 日 (金)
- 要旨提出期限: 9 月 25 日 (金)

交流会

11 月 26 日 (木) 18:00 から、金沢市文化ホールの向かいにある金沢ニューグランドホテルで開催します。多くの方の参加をお待ちしております。

【連絡先】

○放射線安全取扱部会事務局
日本アイソトープ協会学術・出版課
☎113-8941 東京都文京区本駒込 2-28-45
☎03-5395-8081 FAX 03-5395-8053
E-mail gakujutsu@jrias.or.jp

【金沢市へのアクセスと宿泊に関して】

金沢市へのアクセスには飛行機や新幹線が利用できます。飛行機の場合、羽田、札幌、福岡、仙台、那覇の各空港から小松空港までの便があります。小松空港から金沢市内までは高速バスで 1 時間ほど掛かります。特に、関東方面から来られる方は、是非、北陸新幹線をご利用ください。東京-金沢間は最短で 2 時間 28 分です。関西方面の方は JR 西日本・北陸本線のサンダーバードをご利用ください。大阪-金沢間は最速で 2 時間 33 分です。金沢市は日本でも上位の観光都市であり、ホテルなどの宿泊施設もたくさんあります。ただ、北陸新幹線が開通してからは、土、日曜日は大変混み合っています。年次大会後にそのまま観光も考えておられる方は、早めに予約をした方が良いかと思います。